

## 千葉県鉱工業指数月報

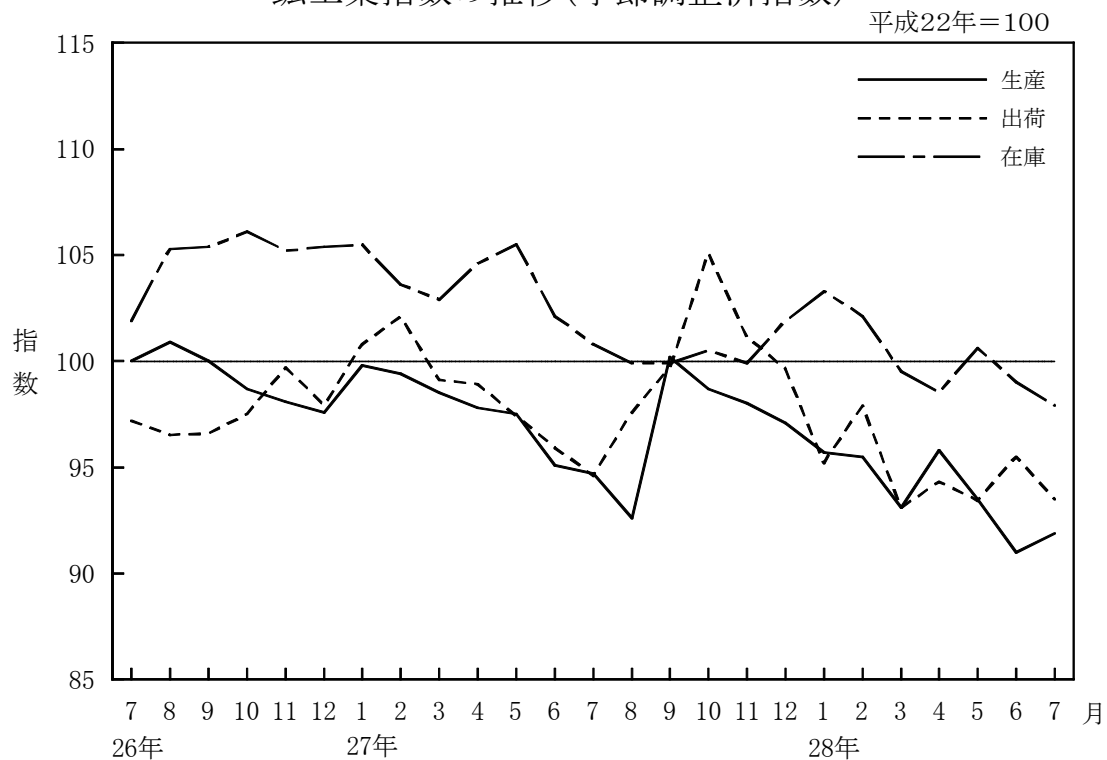
平成22年(2010年)基準

### 平成28年7月分

#### —生産指数は前月比1.0%と3か月ぶりの上昇—

- ・生産指数(季節調整済指数)は、91.9で前月比1.0%と3か月ぶりの上昇。
- ・出荷指数(同)は、93.5で前月比△2.1%と2か月ぶりの低下。
- ・在庫指数(同)は、97.9で前月比△1.1%と2か月連続の低下。

鉱工業指数の推移(季節調整済指数)



平成28年9月

千葉県総合企画部統計課



千葉県マスコットキャラクター

チーバくん

## <平成28年7月の動き>

### 概況(季節調整済指数)

- 生産指数は、91.9で前月比1.0%の上昇となりました。  
業種別にみると、化学工業、プラスチック製品工業等が上昇し、はん用機械工業、輸送機械工業等が低下しました。
- 出荷指数は、93.5で前月比△2.1%の低下となりました。  
業種別にみると、化学工業、鉄鋼業等が上昇し、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下しました。
- 在庫指数は、97.9で前月比△1.1%の低下となりました。  
業種別にみると、はん用機械工業、鉄鋼業等が上昇し、プラスチック製品工業、その他工業等が低下しました。

第1表 鉱工業指数の状況

項目	季節調整済指数		前月比 (%)	原指数		前年同月比 (%)
	28年6月	28年7月		27年7月	28年7月	
生産指数	91.0	91.9	1.0	98.9	94.4	△ 4.6
出荷指数	95.5	93.5	△ 2.1	97.1	93.6	△ 3.6
在庫指数	99.0	97.9	△ 1.1	99.8	96.9	△ 2.9
在庫率指数	139.8	134.1	△ 4.1	127.3	130.8	2.7

第2表 鉱工業指数の推移

年月	27-7	27-8	27-9	27-10	27-11	27-12	28-1	28-2	28-3	28-4	28-5	28-6	28-7	前月比(%)
生産指数	94.7	92.6	100.2	98.7	98.0	97.1	95.7	95.5	93.1	95.8	93.5	91.0	91.9	1.0
出荷指数	94.6	97.6	99.7	105.1	101.1	99.6	95.2	97.9	93.1	94.3	93.4	95.5	93.5	△ 2.1
在庫指数	100.8	99.9	99.9	100.5	99.9	101.9	103.3	102.1	99.5	98.5	100.6	99.0	97.9	△ 1.1
在庫率指数	130.5	129.7	122.6	132.2	130.5	137.8	134.5	120.6	130.4	145.9	138.2	139.8	134.1	△ 4.1

第3表 業種別動向

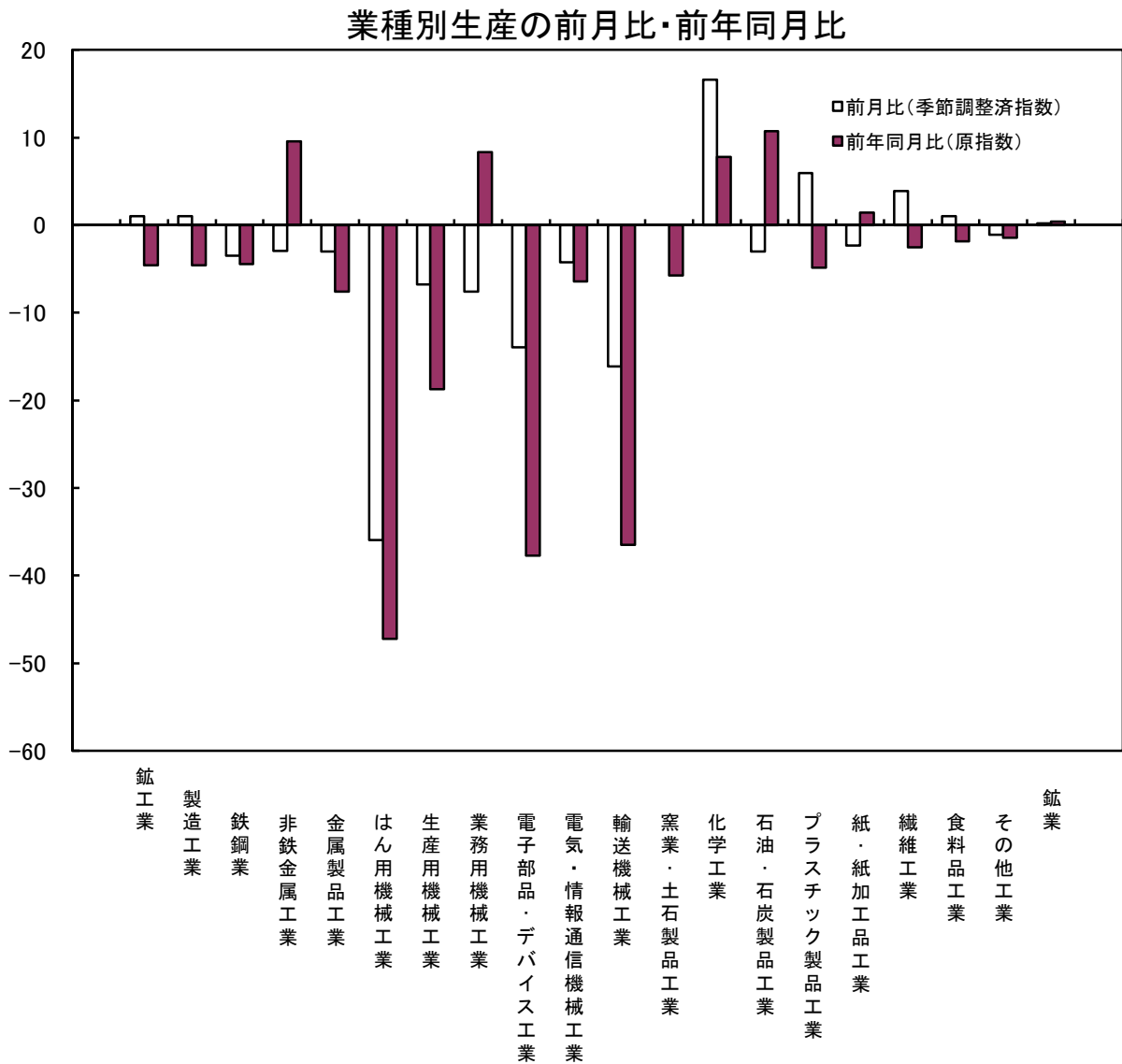
項目	上 昇		低 下	
	業 種	品 目	業 種	品 目
生産指数	化学工業	16.6	医薬品	はん用機械工業 △ 35.9
	プラスチック製品工業	5.9	プラスチック製フィルム・シート	輸送機械工業 △ 16.1
	繊維工業	3.9	織物製外衣	電子部品・デバイス工業 △ 14.0
出荷指数	化学工業	10.6	エチレン	輸送機械工業 △ 94.2
	鉄鋼業	8.9	銑鉄	電子部品・デバイス工業 △ 33.0
	プラスチック製品工業	2.9	プラスチック製容器	はん用機械工業 △ 17.7
在庫指数	はん用機械工業	14.5	ポンプ	プラスチック製品工業 △ 9.0
	鉄鋼業	8.5	亜鉛めっき鋼板	その他工業 △ 7.5
	金属製品工業	4.8	鋼索	化学工業 △ 6.7
				圧縮機
				鋼船
				アクティブ型液晶素子(中・小型)
				鋼船
				アクティブ型液晶素子(中・小型)
				圧縮機
				プラスチック製日用品・雑貨
				金属製ベッド
				柔軟仕上げ剤

(注)業種は増減率の大きいもの、数値は前月比(%), 品目は寄与率の大きいもの

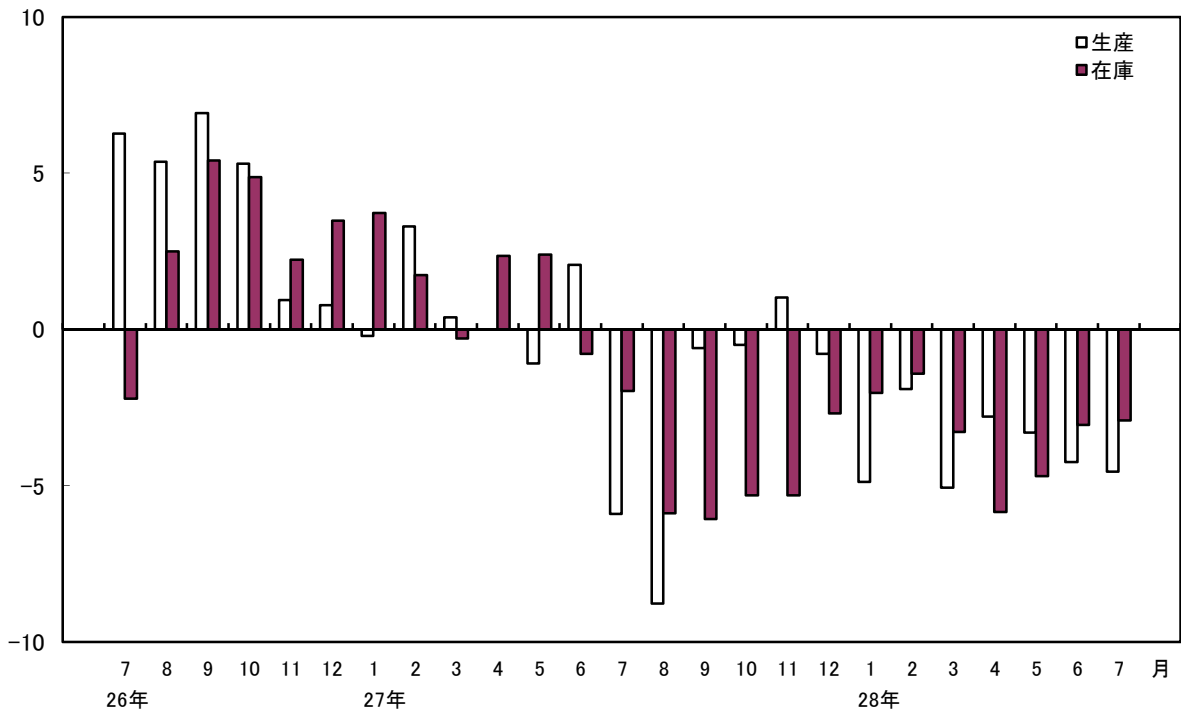
第4表 品目別動向

項目	上 昇	低 下
生産指数	医薬品(化学工業)	アクティブ型液晶素子(中・小型)(電子部品・デバイス工業)
	酸化プロピレン(化学工業)	B・C重油(石油・石炭製品工業)
	ポリエチレン(化学工業)	その他の飲料(食料品工業)
出荷指数	灯油(石油・石炭製品工業)	アクティブ型液晶素子(中・小型)(電子部品・デバイス工業)
	銑鉄(鉄鋼業)	B・C重油(石油・石炭製品工業)
	エチレン(化学工業)	鋼船(輸送機械工業)
在庫指数	ナフサ(石油・石炭製品工業)	特殊鋼熱間圧延鋼材(鉄鋼業)
	プラスチック製フィルム・シート(プラスチック製品工業)	特殊鋼鋼管(鉄鋼業)
	亜鉛めっき鋼板(鉄鋼業)	ガソリン(石油・石炭製品工業)

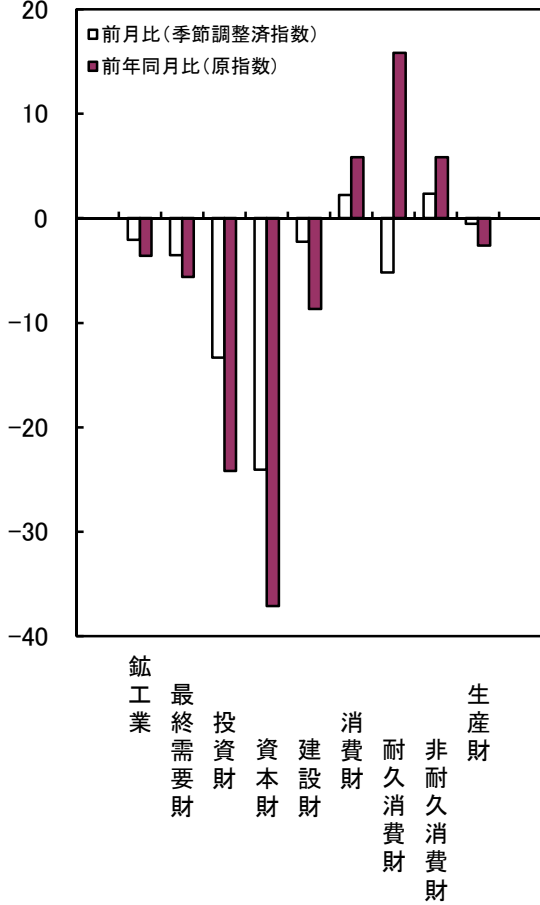
(注)品目は寄与率の大きいもの



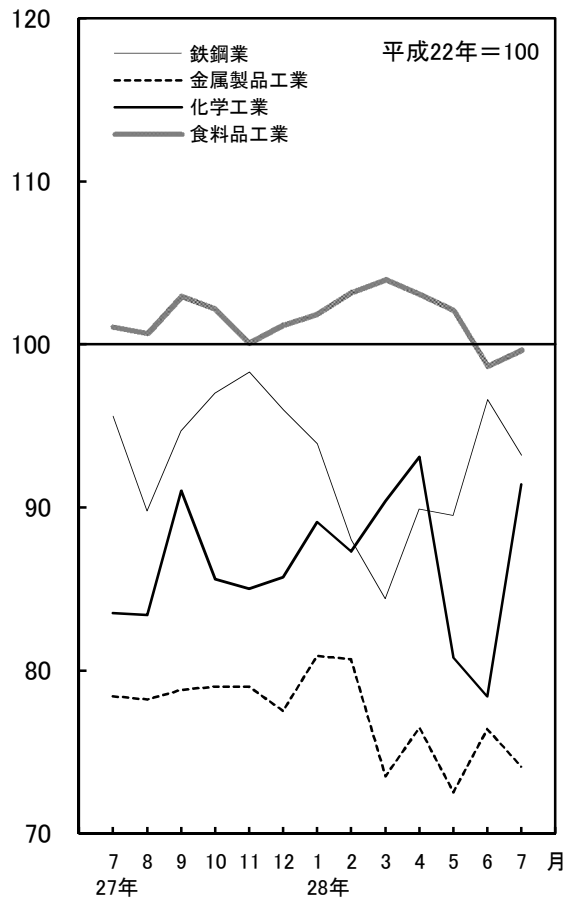
生産・在庫の前年同月比(原指数)



財別出荷の前月比・前年同月比



主要業種の生産(季節調整済指数)



業種別生産指数

Table with 18 columns: Index (指数), 製鉄工業 (Iron and Steel Industry), 鉄鋼業 (Iron and Steel Industry), 非鉄金属工業 (Non-ferrous metal industry), 金属製品工業 (Metal products industry), はん用機械工業 (General machinery industry), 生産用機械工業 (Production machinery industry), 業務用機械工業 (Business machinery industry), 電子部品・デバイス・電装部品工業 (Electronic components industry), 電気・情報・通信機械工業 (Electricity and information machinery industry), 輸送機械工業 (Transport machinery industry), 窯業・土石製品工業 (Cement and stone products industry), 化学工業 (Chemical industry), 石油・石炭製品工業 (Oil and coal products industry), プラスチック製品工業 (Plastic products industry), 紙・紙加工品工業 (Paper and paper products industry), 繊維工業 (Textile industry), 食料品工業 (Food products industry), 繊維工業 (Textile industry), その他工業 (Other industry), ゴム製品工業 (Rubber products industry), 家具工業 (Furniture industry), 印刷業 (Printing industry), 木材・木製品工業 (Wood and wood products industry), その他工業 (Other industry), 電力事業 (Electric power business), 産業総合 (Industrial general), 機械工業 (旧分類) (Machinery industry (old classification)), はん用・生産用・業務用機械工業 (General, production, business machinery industry), (参考) (Reference), (参考) (Reference), (参考) (Reference), (参考) (Reference), (参考) (Reference), (参考) (Reference).

(注1)平成28年の数値は速報値

(注2)※は業種別分類の18業種を示す。

平成29年=100.0











平成22年=100.0

ウエイト指数	鉱工業必要財	投資財	資本財	建設財	消費財	耐久消費財	非耐久消費財	生産財	鉱工業用その他用生産財	533.7
原指数	1000.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成22年	118.7	110.8	111.6	109.7	105.7	95.3	105.9	120.6	120.5	120.6
平成23年	118.0	98.7	98.7	98.8	106.4	97.3	106.6	120.5	121.6	104.7
平成24年	112.3	98.5	107.3	87.6	112.5	92.1	112.9	113.4	113.0	120.3
平成25年	118.1	99.8	114.7	92.1	95.5	77.5	95.7	121.2	122.6	100.2
平成26年	128.9	115.9	194.2	80.1	91.4	96.0	91.3	131.1	133.3	98.1
原指数	131.4	126.4	239.1	81.1	88.4	95.7	88.3	132.2	134.2	102.9
平成27年	127.3	115.3	185.5	82.1	93.7	138.8	93.0	129.3	130.2	115.1
平成28年	134.9	103.1	143.1	93.2	87.2	97.6	87.0	140.3	144.1	83.6
平成29年	114.3	114.8	197.9	80.8	87.2	101.3	87.0	114.2	114.9	103.1
平成30年	133.9	131.6	178.5	72.8	90.5	78.6	90.7	138.0	140.8	95.7
平成31年	130.6	126.4	236.2	73.5	92.9	90.9	92.9	131.4	134.2	89.0
平成32年	133.9	176.6	443.2	82.2	81.9	67.5	82.1	126.7	126.6	98.8
平成33年	146.8	106.9	158.1	83.9	90.6	111.8	90.3	153.6	157.3	98.1
平成34年	127.0	90.3	144.6	74.5	69.7	172.9	68.2	133.2	137.2	73.3
平成35年	113.0	77.9	91.8	108.1	59.1	102.4	58.4	118.9	122.2	69.7
平成36年	142.2	97.1	118.3	80.1	78.1	90.3	77.9	149.8	154.3	81.7
平成37年	146.5	181.0	383.7	137.7	97.7	357.4	93.9	140.7	145.2	72.0
平成38年	143.2	113.7	143.6	82.8	87.1	110.4	86.7	148.3	154.0	62.2
平成39年	130.8	113.9	212.7	78.5	79.1	90.4	78.9	133.7	137.9	69.5
前年同月比(%)	△ 2.7	△ 1.2	△ 14.7	△ 4.4	△ 15.6	△ 34.9	△ 15.2	△ 3.4	△ 5.9	△ 39.6
季節調整指数	128.3	123.4	233.8	74.3	90.0	105.2	89.8	130.1	132.3	104.9
平成27年	130.5	115.2	186.2	79.9	95.4	127.7	95.2	132.5	134.1	112.2
平成28年	129.7	106.7	148.9	92.6	85.2	91.0	85.3	133.0	136.1	89.0
平成29年	122.6	126.4	268.6	94.1	85.0	90.0	85.0	122.7	124.6	96.3
平成30年	132.2	119.2	193.9	87.5	90.6	86.9	90.7	133.9	136.3	96.7
平成31年	130.5	126.9	206.5	80.0	96.0	88.4	96.0	130.5	132.9	93.0
平成32年	137.8	177.2	345.1	90.8	100.6	80.2	100.9	132.2	134.2	104.0
平成33年	134.5	91.0	122.6	86.1	77.5	94.7	77.2	142.2	144.9	93.8
平成34年	120.6	87.5	135.8	80.8	68.1	142.6	66.8	126.1	130.1	72.3
平成35年	130.4	97.4	143.1	137.3	65.2	100.5	64.0	136.2	139.6	79.5
平成36年	145.9	92.3	163.5	57.7	78.8	104.6	78.3	154.5	158.4	75.5
平成37年	138.2	158.2	369.9	106.2	86.1	476.3	82.5	134.1	139.2	66.1
平成38年	139.8	111.0	188.0	75.8	88.7	121.3	88.2	146.0	151.8	63.4
平成39年	134.1	113.8	213.5	76.4	80.5	83.2	80.7	137.0	142.0	67.7
前月比(%)	△ 4.1	△ 2.5	△ 13.6	△ 0.8	△ 9.2	△ 31.4	△ 8.5	△ 6.2	△ 6.5	△ 6.8

(注)平成28年の数値は選報値

平成22年=100.0

ウエイト指数	鉱工業必要財	投資財	資本財	建設財	消費財	耐久消費財	非耐久消費財	生産財	鉱工業用その他用生産財	533.7
原指数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成22年	103.5	104.1	113.0	95.2	96.2	112.8	96.0	103.4	103.8	97.0
平成23年	104.1	96.1	105.3	83.9	88.0	93.5	87.9	105.5	106.9	84.3
平成24年	103.6	91.9	97.2	92.1	87.2	107.2	87.0	105.6	106.3	95.2
平成25年	100.6	96.4	102.5	81.9	90.9	96.5	90.9	101.4	102.3	87.5
平成26年	104.1	98.0	109.9	91.6	87.4	96.2	87.3	105.1	105.7	96.8
平成27年	101.3	96.2	110.6	90.7	83.4	113.4	83.0	102.1	102.4	97.7
原指数	101.6	93.5	109.8	96.3	79.0	105.6	78.7	103.0	104.3	83.2
平成27年	99.8	99.0	113.6	95.4	85.9	109.8	85.6	100.0	98.8	116.9
平成28年	100.8	93.8	106.6	89.1	82.3	110.6	81.8	102.0	102.2	98.7
平成29年	98.9	95.7	103.3	90.8	88.9	114.4	88.6	99.5	99.6	97.4
平成30年	100.0	95.6	102.1	89.0	89.9	110.9	89.5	100.7	101.2	93.6
平成31年	99.8	100.3	105.6	90.6	95.6	122.7	95.2	99.7	100.7	85.8
平成32年	101.3	96.2	110.6	90.7	83.4	113.4	83.0	102.1	102.4	97.7
平成33年	106.2	89.7	102.7	85.5	78.1	109.5	77.7	108.9	109.6	99.4
平成34年	103.8	81.4	99.4	77.3	65.3	124.6	64.4	107.6	109.4	81.7
平成35年	97.0	79.2	94.1	81.5	66.0	124.2	65.1	100.0	101.7	74.8
平成36年	98.4	82.7	91.4	76.4	74.9	121.0	74.2	101.0	102.7	75.0
平成37年	101.6	87.6	98.1	87.0	78.4	121.1	77.7	104.0	106.3	68.7
平成38年	98.5	89.8	101.3	89.4	79.6	116.9	79.1	100.0	102.2	66.2
平成39年	96.9	88.5	103.3	87.2	75.3	118.3	74.7	98.3	99.9	74.7
前年同月比(%)	△ 2.9	△ 10.6	△ 9.1	△ 8.6	△ 12.3	△ 7.7	△ 12.7	△ 1.7	△ 1.1	△ 36.1
季節調整指数	102.1	94.3	107.6	90.9	81.8	114.5	81.5	103.7	104.1	91.1
平成27年	100.8	95.8	106.9	89.5	86.5	116.8	86.2	101.3	100.4	107.8
平成28年	99.9	94.5	105.2	89.6	84.1	116.3	83.7	100.8	101.7	88.7
平成29年	99.9	96.4	106.5	91.1	87.2	117.4	86.9	100.3	101.1	90.0
平成30年	100.5	94.8	105.3	91.8	86.1	110.8	85.8	101.5	102.1	93.0
平成31年	99.9	95.7	104.9	88.6	87.9	113.8	87.7	100.7	101.4	91.0
平成32年	101.9	97.0	107.5	91.6	87.4	110.4	87.2	102.9	103.0	104.5
平成33年	103.3	88.5	98.3	87.0	79.1	105.2	78.9	106.0	106.8	97.2
平成34年	102.1	81.3	95.5	79.7	66.4	120.5	64.5	105.6	107.4	83.0
平成35年	99.5	83.4	103.4	88.1	68.5	120.6	67.8	102.3	103.7	83.9
平成36年	98.5	84.7	96.9	77.7	73.8	119.2	73.2	100.7	102.5	75.3
平成37年	100.6	87.0	99.0	83.3	76.9	122.2	76.3	102.8	104.6	67.1
平成38年	99.0	90.6	99.3	84.4	82.4	126.8	81.9	100.6	102.0	72.5
平成39年	97.9	85.6	97.2	81.8	75.9	125.9	75.3	99.6	101.5	68.9
前月比(%)	△ 1.1	△ 5.5	△ 2.1	△ 2.5	△ 7.9	△ 0.7	△ 8.1	△ 1.0	△ 0.5	△ 5.0

(注)平成28年の数値は選報値

# 利 用 上 の 注 意

## 1 指数の種類、ウェイト算定基準及び採用品目数

指数の種類	基準時	ウェイト算定基準	採用品目数
生産指数	平成22年	付加価値額	262
出荷指数	平成22年	出荷額	262
在庫指数	平成22年	在庫額	188
在庫率指数	平成22年		

※ 指数値は、平成22年の平均値を100.0とした比率で示しています。

## 2 分類

日本標準産業分類を基本とした業種分類、財の用途に着目した特殊分類です。

## 3 ウェイトの算定

生産指数、出荷指数及び在庫指数のウェイトは、それぞれ基準時の付加価値額、出荷額及び在庫額の鉱工業全体に対する各品目の1万分比です。

## 4 指数の算出

生産指数、出荷指数及び在庫指数は、個別系列（採用品目）を指数化し基準時の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式を採用しています。

$$\text{総合指数} = \frac{\left[ \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

ただし、在庫率指数（出荷に対する在庫の割合を表す指数）は、次の式を用いています。

$$\text{総合在庫率指数} = \frac{\left[ \frac{\frac{\text{比較時の在庫数量}}{\text{比較時の出荷数量}}}{\frac{\text{基準時の在庫数量}}{\text{基準時の出荷数量}}} \times \text{基準時在庫額ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時在庫額ウェイトの総和}} \times 100$$

## 5 季節調整

季節調整とは、1年を周期とする季節変動要素（社会的慣習、制度、気象条件等）を除去することを言います。本県では、生産・出荷指数については、米国センサス局のX-12-ARIMA、在庫・在庫率指数については、X-11デフォルトを用いて季節指数を求め、調整前の指数（原指数）を季節指数で除して季節調整済指数を算出しています。

## 6 寄与率

総合の増減に対して、その内訳である業種や品目の影響の度合いがどれくらいあるかを示すもので総合の増減を100にしたときの構成比を表します。

## 7 資料

採用品目の月々の生産数量等は、経済産業省生産動態統計調査の結果を基準資料とし、併せて、千葉県工業生産動態統計調査の資料を使用しています。

## 8 年間補正

1年間の実数値がすべて確定した時点で年間補正作業を行い、指数をすべて計算し直し、その結果を確定値として「千葉県鉱工業指数年報」にて公表しています。したがって、本書記載の指数値は修正されることがあります。

## 9 指数値等の表示方法

- (1) 指数値は、暦年別及び月別に算出し、表示しています。
- (2) 暦年指数値及び前年同月比は、原指数によって算出し、表示しています。
- (3) 前月比は、季節調整済指数によって算出し、表示しています。
- (4) 暦年指数値は、1～12月の平均指数値です。ただし、在庫指数は、年末の指数値です。
- (5) 各数値の掲載単位未満は、すべて四捨五入しています。

## 10 符号の用法

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 「－」 ……該当数値のないもの     | 「△」 ……比較減を示す    |
| 「0.0」 ……掲載単位に満たないもの | 「X」 ……数値を秘匿したもの |

※ 平成27年以前の数値は確報値です。

※ 平成28年1月～3月の数値は、年間補正に伴い再計算した数値です。

※ 平成28年の数値は、推計値を含む速報値であり、後日公表する数値と相違することがあります。

**千葉県鉱工業指数月報 Vol.38 No.6**

**平成28年7月分**

発行日 平成28年9月29日

編集・発行 千葉県総合企画部統計課

所在地 千葉市中央区市場町1-1

電話 043-223-2227 FAX 043-227-4458

<http://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/koukougyou/>